

大月市耐震改修促進計画（改定）（概要版）

【1】計画の目的

大月市耐震改修促進計画は、市内の建築物の耐震診断及び耐震改修を促進することにより、建築物の地震に対する安全性の向上を図り、今後予想される地震災害に対して市民の生命、財産を守ることを目的として策定しました。

【2】想定される地震の種類・被害の状況

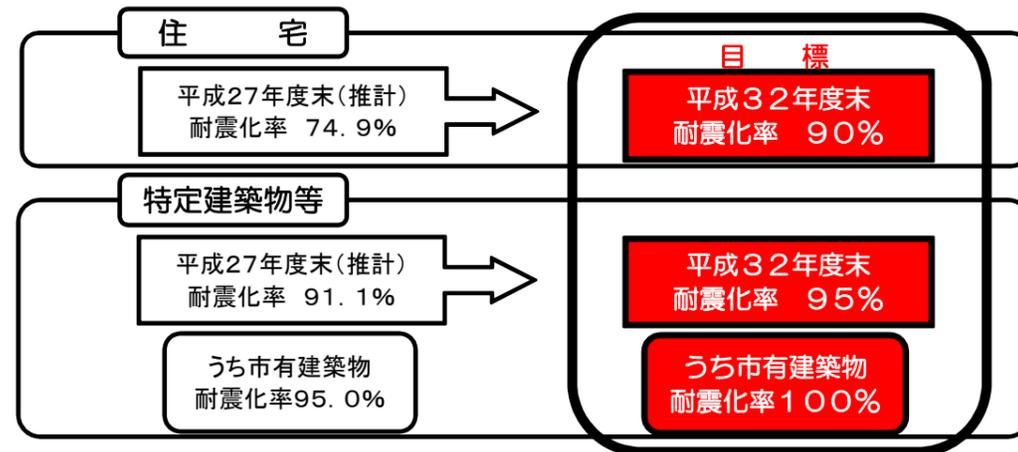
山梨県地震被害想定調査報告書（平成8年3月）及び山梨県東海地震被害想定調査報告（平成17年）によると、本市で想定される地震・被害の状況は、次のとおりです。

	全壊	半壊	死者数
東海地震	24	784	2
南関東直下プレート境界地震	25	112	3
釜無川断層地震	6	28	2
藤の木愛川断層地震	4,534	3,054	212
曾根丘陵断層地震	0	0	0
糸魚川-静岡構造線地震	0	0	0



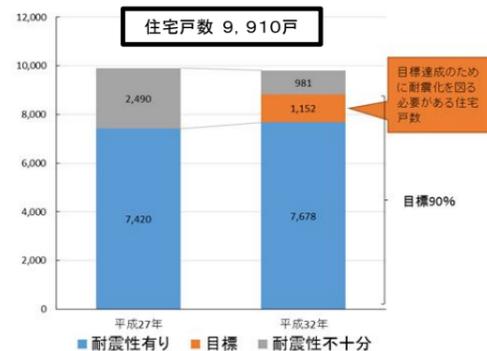
【3】耐震化の現状と目標設定

耐震化の現状を踏まえ、平成32年度末における耐震化率の目標を次のとおりとします。



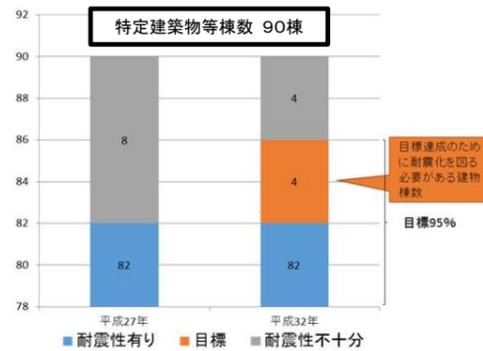
○ 住宅の耐震化率の目標

平成32年度末における耐震化率の目標は、90%とします。
そのためには、自然増に加え、さらに施策として1,152戸の耐震化が必要となります。



○ 多数の者が利用する特定建築物等の耐震化率の目標

平成32年度末における耐震化率の目標は、95%とします。
そのためには、4棟の耐震化が必要となります。



【4】建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための施策等

